完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2021年4月12日

事業ID: 2019517869

事業名:長野県における「第三の居場所」の運営支援

団体名:公益財団法人長野県みらい基金

代表者名:理事長 髙橋 潤

TEL:026-217-2220

事業完了日:2021年3月31日

事業費総額	:	33,280,310円	収支計算書の黄のセルの値
自己負担額	:	150,310円	収支計算書の緑のセルの値
助成金額	:	33,130,000円	収支計算書の赤のセルの値。千円未満は切捨
助成金返還見込額	:	0円	(収支計算書の青のセルの値)

1.事業内容

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

- 1. 各拠点への運営費助成
- (1)対象:各拠点(長野市・御代田町・諏訪市・松川町)
- (2)内容:各拠点に運営費の助成を行う。



(2)事業完了時の事業内容(実績)

- 1. 各拠点への運営費助成
- (1)拠点

長野市-特定非営利活動法人にっこりひろば 御代田町-特定非営利活動法人まちの縁側なから 諏訪市-特定非営利活動法人末広 松川町-特定非営利活動法人Hug

- (2)半期ごとの助成を行った

 - ·第1回 2020年4月30日 ·第2回 2020年10月15日

(3)成功したこととその要因

毎月ヒアリングを行い進捗状況を確認した。

10月上旬各拠点を訪問し、事業進捗・会計書帳簿等確認後、後期分支払いを行った。

(4)失敗したこととその要因

計画どおり実施できた

(5)事業内容詳細

2020年度完了報告書【長野県みらい基金伴走支援】

■事業内容2

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. 現地支援チーム会議

市町村、学校等を交えた情報共有・協力体制の構築・ 現地レベルでの県の支援対策の検討・

実施を図ることを目的に現地支援チームを設置。チームリーダーは、各地域振興局副局長

- (1)日程 概ね3か月に1回
- (2)場所 各拠点 (長野·御代田·諏訪·松川)
- (3)人数 10人~20人

県・市町村・学校・地域住民(区長・民生児童

員)・長野県みらい基金 他

(4)内容 活動報告・課題把握・取り組み

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1. 現地支援チーム会議

- [1回目]2019年事業報告・課題共有・意見交換 長 野(1)7/29(2)三本柳地区センター(3)23人 御代田(1)8/7 (2)エコールみよた(3)20人 諏 訪(1)7/31(2)諏訪市役所(3)19人 松 川(1)7/29(2)上片桐改善センター(3)27人
- [2回目]研修・2020年進捗報告・2021年事業計画 長 野(1)2/8 (2)オンライン(3)20人

御代田(1)2/9(2)オンライン(3)23人 諏 訪(1)2/3(2)オンライン(3)23人

- 松 川(1)2/4(2)オンライン(3)20人
- 2. 全体支援チーム会議
- (1) 2021年2月4日(2)オンライン会議
- (3) 26人(県関係部局14人 運営団体4人 日本財団2人 事務局 県4人 みらい基金2人)
- (4)長野県内「第三の居場所」の取組の進捗状況 及び課題について意見交換



(3)成功したこととその要因

現地支援チーム会議(市町・社会福祉協議会・民生児童委員協議会・自治体・教育事務所・区などで構成)では、運営団体の抱える課題を支援するとともに、団体だけでは解決が難しい問題は専門機関に繋げることができる体制ができた。また、全体支援チームでは、各団体の取り組みを通じて得られた取り組みのノウハウを県の関係部署に周知し、サポートを得る事ができる関係性ができた。

(4)失敗したこととその要因

計画どおり実施できた

(5)事業内容詳細

2020年度完了報告書【長野県みらい基金伴走支援】

■事業内容3

(1)契約時の事業内容

- 2. 地域への告知活動
- (1)日程 年1回
- (2)場所 各拠点
- (3)人数 20名~50名 地域住民
- (4)内容 講演会・イベント

(2)事業内容の実施(完了)状況

2. 地域への告知活動

長 野 学校と連携し広報

御代田(1)4月30日(2)オンライン研修(3)17人

(4)講師:藤江玲子氏

内容:難しい時代の子ども支援と親支援

諏 訪(1)6月19日(2)高校生向けチラシ配布

(3)全生徒配布

社協だよりに掲載し回覧

松 川 社協や教育事務所から広報



(3)成功したこととその要因

コロナウイルス感染拡大防止のため講演会やイベントにる告知活動は思うように実施できなかったが、行政や教育員会・学校へ 訪問したりこまめに連絡をとり情報を共有をした。その結果、学校や行政から保護者へ「第三の居場所」を紹介をしていただく事 例が多くなった。また、現地支援チームメンバーの働きかけにより、地域での認知度が高まった。

(4)失敗したこととその要因

なし

(5)事業内容詳細

各拠点の報告書添付

■事業内容4

(1)契約時の事業内容

3. 研修会

- (1)ボランティア研修 (各拠点スタッフ対象)
- (2)経理・経営関係(各拠点スタッフ)
- (3)NPO法人格取得サポート(長野)
- (4)社会的インパクト評価・ファンドレイジング
- (5)4年目以降の継続性につながるような経済活動の支援



(2)事業内容の実施(完了)状況

3. 研修会

(1)ボランティア研修(各拠点スタッフ対象) 長 野「トワイライトステイ事業について」 御代田「町の心理師としての役割と仕事」 「こどもからのSOSを地域で受けとめる」

諏 訪「4月からの統合新小学校」 「地域のプレーパーク運営」

松川「子どもたちを取り巻く環境」

「今までの経験から気づいた地域や子どもの課題」 「不登校児童生徒の現状と多様な学びの場の充実」

(2)経理・経営関係

運営セミナー研修 11月18日 12月17日

(3)NPO法人格

長野·諏訪取得完了

- (4)社会的インパクト評価・ファンドレイジング ファンドレイジング基盤強化研修 2月25日
- (5)マンスリーサポート準備

金融機関2社と打ち合わせ、県・市・町へ説明

(3)成功したこととその要因

ファンドレイジング基盤強化研修は、自立のための戦略として意識改革に繋がった。 また各地域の研修会の実施によりスタッフの意識向上になった。 次年度からマンスリーサポートが開始できるよう進めることにより、自立後の運営基盤の準備ができた。

(4)失敗したこととその要因

計画どおり実施できた

(5)事業内容詳細

各拠点の報告書添付

2.契約時事業目標の達成状況:

(1)助成契約書記載の目標

- 1. 困難を抱える子ども(小学生から高校生まで)を主な対象
- ・市町や学校から、居場所を必要とする家庭や子どもに情報提供する。
- ・利用者の気づきを記入し、市町や学校と連携し情報共有をする。
- ・現地支援チーム会議でワークショップを開し、問題点、状態や変化を可視化する。
- 2. 週5日程度、最長21時まで開設
- ・開催日数、利用者数、平均利用者数を数値化する。

(2)目標の達成状況[700文字以内]

入力文字数 327 文字数チェック OK

1の達成状況:市町や学校から、居場所を必要とする家庭や子どもに情報提供する。

利用者の気づきを記入し、市町や学校と連携し情報共有することができた。4拠点達成

現地支援チーム会議でワークショップを開し、問題点、状態や変化を可視化することができた。4拠点達成

2の達成状況:週5日程度開催:コロナ対策の為開催できなかった期間があったが概ね達成

最長21時まで:未達成 次年度から長野で市と協力してトワイライトスティ事業(21時まで預かり)を実施 開催日数、利用者数、平均利用者数を数値化し現地支援チーム会議で情報共有した。100%達成

3.事業実施によって得られた成果

- ・地域資源の拡充を図り、連携強化により地域の協力を得られ、第三の居場所の認知度が高まった。・運営団体対象の研修会により、スタッフやボランティアのモチベーションが上り積極的に関わっていただけるようになった。
- ・教育事務所から教員OBを紹介していただいき学習スタッフや見守りスタッフを増員することができた。
- ・市町、学校、第三の居場所の連携ができ定期的に情報交換ができるようになった。

4.活動を通じて明らかになった新たな課題と対応案

【課題】

- ・現地支援チーム(関係機関)との連携強化、拡大
- ・収益事業の継続性の確保
- 学習支援、相談員など人材確保
- ・コロナ対策

【対応策】

- ・4年目の自立に向け必要な経費の見直しと収入を確認しながら次年度の目標を明確にする。
- ・県・市町等行政支援への打診、提案を引き続き行う。
- ・自立に向けた自主事業構築の姿を明確にし、3年目の2021年度はそのトライアルを行い、プロジェクトのPDCAにつなげなが ら、事業継続力をつけていく。
- ・行政との相談、連携しながら「第三の居場所」を地域で支える、地域支援マンスリーサポート推進を図る。
- 国の助成金、補助金等の調査、研究
- ・各拠点でFacebook(第三の居場所事業)を作り、みらい基金ホームページから情報発信

5.事業成果物

- (1)助成契約書記載の成果物名称
- ・子どもの「第三の居場所」報告書 各地域における成果報告レポート

- (2)事業完了時の成果物名称
- ・2020年度「第三の居場所づくり事業」完了報告書 •活動報告書(長野•御代田•諏訪•松川)

(3)未作成となった要因

なし

(4)成果物を登録したウェブサイトのURL

成果物の登録方法については、こちらをご確認ください→ https://www.nipponfoundation.or.jp/app/uploads/2019/03/gra_gui_01-1.pdf (なお、事情により、公開が困難な成果物に関しては、表紙のアップ ロードをお願いいたします。)

上記で登録したURLをご記載ください。